

# IPv6 Ready Logo認証について

2017年10月16日

一般財団法人 電気通信端末機器審査協会

日本IPv6認証センター



1. 日本国内においてIPv6は普及している状況。
2. IPv6の実装技術・相互接続性は安定。開発・評価・IPv6 Ready Logo 申請に関わる日本ベンダの知見・ノウハウも十分に蓄積。
3. 日本ベンダによる日本国内でのIPv6 Ready Logo申請は減少傾向（世界のIPv6 Ready Logo取得数は安定して増加）。
4. IPv6 Ready Logo 取得に関し、日本での技術支援の役割は終わったと認識されることから、日本国内におけるIPv6 Ready Logo 審査業務を下記のスケジュールで終了。（※ CIAJによるベンダヒアリングによると、海外審査機関のみへの申請でも問題なしとの結果）
  - 2017年12月末：日本国内における新規の審査申込みに対する受付を終了
  - 2018年03月末：日本国内におけるIPv6 Ready Logo 認証に関わる全業務を終了

これ以降のIPv6 Ready Logo 申請は、これまでどおりIPv6 Ready Logo Committee 宛に申し込んだ上で、全世界8か所から任意の審査機関を選択し実施。